

つ つ い おさむ
筒井 修 (1917~1990)



プロ野球審判。香川県出身。愛媛県立松山商業学校(現、県立松山商業高等学校)の遊撃手、4番打者として昭和10(1935)年夏の第21回全国中等学校優勝野球大会(現、全国高等学校野球選手権大会)に優勝。大会終了後発足したばかりの東京巨人軍に入団。三原脩、水原茂と黄金内野陣として活躍した。しかし、昭和13(1938)年と昭和17(1942)年の二度にわたり軍隊に召集され、ビルマ(現、ミャンマー)に出征した際、手りゅう弾の暴発で左手の親指を除く4本の指の第一関節から先を失い、選手生命を絶たれた。昭和22(1947)年、松山商業学校の先輩である元巨人軍監督・藤本定義の勧めで審判員に転身、正確で誠実な判定は定評があった。引退するまでの31年間に審判員では初の3,000試合出場(通算は3,451試合)を達成した。平成3(1991)年、野球殿堂入りした。

略歴

大正6(1917)年10月12日	香川県仲多度郡(現、善通寺市)に生まれる。
昭和6(1931)年	松山商業学校に入学
昭和8(1933)年	全国選抜中等学校野球大会(現、全国選抜高等学校野球大会)で甲子園に初めて出場
昭和10(1935)年	全国中等学校優勝野球大会で全国優勝する。
昭和11(1936)年	東京巨人軍に入団、アメリカ遠征に参加する。
昭和13(1938)年	軍に召集され出征する。
昭和16(1941)年	除隊
昭和17(1942)年	再び召集されビルマ戦線に参加。手りゅう弾の暴発で、左手の親指を除く4本の指の第一関節から先を失う。
昭和22(1947)年	松山商業学校の先輩で元巨人軍の監督・藤本定義の勧めで審判員となる。
昭和37(1962)年	関西審判部の主任を務める。
昭和46(1971)年	審判として初の3,000試合出場記録を樹立した。
昭和52(1977)年	定年退職をする(通算3,451試合出場)。
平成2(1990)年11月3日	73歳で永眠
平成3(1991)年	野球殿堂入り

(写真提供：筒井玲子氏)

〈関連図書〉

- ・筒井修・今原旭『最後の騎兵隊』 井上節斉 1984年
- ・『えひめ 人 その風土』 愛媛放送株式会社 1986年
- ・神田順治『92年度版 野球殿堂物語』 ベースボール・マガジン社 1992年
- ・『スポーツ人名事典 増補改訂版』 日外アソシエーツ株式会社 1995年

〈主な収蔵資料〉…(P237, 189)

〈関連施設〉…野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドーム21ゲート右 TEL:03-3811-3600